



佐藤彰一 教授

佐藤彰一教授略歴・業績

略 歴

昭和 20 年 7 月 28 日 山形県余目町（現庄内町）生まれ

履 歴

昭和 39 年 3 月 山形県立酒田東高等学校卒業
昭和 43 年 3 月 中央大学法学部法律学科卒業
昭和 44 年 4 月 早稲田大学大学院文学研究科西洋史専攻修士課程入学
昭和 44 年 10 月 フランス・カン大学人文学部留学（昭和 46 年 3 月まで）
昭和 48 年 3 月 早稲田大学大学院文学研究科西洋史専攻修士課程修了
昭和 48 年 4 月 早稲田大学大学院文学研究科西洋史専攻博士課程入学
昭和 51 年 3 月 早稲田大学大学院文学研究科博士課程単位取得
（昭和 53 年 3 月まで引き続き在籍）
昭和 53 年 4 月 日本学術振興会奨励研究員採用
昭和 54 年 4 月 愛知大学法経学部助教授
昭和 62 年 4 月 名古屋大学文学部助教授
平成 3 年 10 月 名古屋大学文学部教授
平成 12 年 4 月 名古屋大学大学院文学研究科教授（組織替えによる）（現在にいたる）
平成 20 年 10 月 名古屋大学高等研究院アカデミー会員（現在にいたる）

学 位

昭和 48 年 3 月 文学修士号 「カール大帝治下のセプティマニア・スペイン辺境領」
平成 7 年 11 月 博士（文学・早稲田大学）「サン・マルタン修道院「会計文書」の研究」

学会活動

昭和 59 年 Société Nationale des Antiquaires de France（フランス国立考古・歴史学会）
外国人会員選出（現在にいたる）
平成 7 年 日仏歴史学会理事（現在にいたる）
平成 9 年 史学会評議員（現在にいたる）
平成 11 年 Société d'Histoire de France（フランス史学会）会員選出（現在にいたる）

平成 11 年 日仏歴史学会副会長（現在にいたる）
 平成 21 年 西洋中世学会会長（現在にいたる）

海外での研究歴

昭和 44 年 10 月 カン大学（フランス）人文学部留学（昭和 46 年 3 月まで）
 昭和 59 年 10 月 パリ第 10 大学留学（昭和 61 年 9 月まで）
 平成 7 年 10 月 フランス政府研究庁（C N R S）研究員（平成 8 年 7 月まで）

各種学内委員

平成 5 年 7 月 名古屋大学文学部史学科長（平成 6 年 6 月まで）
 平成 9 年 4 月 名古屋大学評議員（平成 12 年 3 月まで）
 平成 15 年 2 月 名古屋大学高等研究院流動教官（平成 16 年 3 月まで）
 平成 16 年 4 月 名古屋大学高等研究院流動教官（平成 17 年 9 月まで）
 平成 17 年 10 月 名古屋大学高等研究院教員（平成 18 年 3 月まで）
 平成 15 年 10 月 名古屋大学高等研究院長（平成 16 年 2 月まで）
 平成 18 年 4 月 名古屋大学教育研究評議員（平成 20 年 3 月まで）
 平成 18 年 8 月 名古屋大学高等研究院院友（現在にいたる）

各種プロジェクト等の委嘱

平成 14 年 6 月 21 世紀 COE プログラム「統合テキスト科学の構築」拠点リーダー
 （平成 19 年 3 月まで）
 平成 19 年 6 月 グローバル COE プログラム「テキスト布置の解釈学的研究と教育」拠点リーダー
 （現在にいたる）

学外委員等の委嘱

平成 9 年 11 月 東北大学文学部外部評価委員
 平成 10 年 7 月 文部(文部科学)省大学設置審議会専門委員（平成 13 年 3 月まで）
 平成 15 年 2 月 東京大学付属文化交流施設外部評価委員
 平成 16 年 7 月 文部科学省高度化推進委員会協力委員（平成 19 年 3 月まで）
 平成 17 年 1 月 日本学術振興会科学研究費専門委員会委員（同 12 月まで）
 平成 18 年 1 月 日本学術振興会科学研究費専門委員会委員（同 12 月まで）
 平成 18 年 4 月 日本学術振興会「魅力ある大学院教育」イニシアティブ委員会分野別審査委

	員会専門委員（同12月まで）
平成19年 4月	日本学術振興会「魅力ある大学院教育」イニシアティブ委員会事後評価部会専門委員（同12月まで）
平成19年 5月	日本学術振興会大学院教育改革支援プログラム委員会分野別審査部会専門委員（同12月まで）
平成19年 7月	新潟大学人文社会・教育科学系懇話会委員（現在にいたる）
平成19年 8月	日本学術振興会特別研究員等審査会専門委員及び国際事業委員会書面審査委員（平成20年7月まで）
平成20年 5月	日本学術振興会「魅力ある大学院教育」イニシアティブ委員会事後評価部会専門委員（同12月まで）
平成20年 5月	日本学術振興会大学院教育改革支援プログラム委員会分野別審査部会専門委員（同12月まで）

国内出張講義

平成 3年 12月	九州大学講師
平成 5年 7月	京都大学講師
平成 5年 12月	三重大学講師
平成 9年 7月	大阪大学講師
平成11年 9月	山口大学講師
平成11年 12月	東北大学講師
平成13年 9月	岡山大学講師
平成13年 12月	放送大学講師
平成15年 12月	東京大学講師

海外出張講義および講演

平成13年 3月	エクサン・プロヴァンス大学客員教授
平成13年 4月	パリ社会科学高等研究院（EHESS）客員教授
平成13年 5月	ソルボンヌ高等研究院（EPHE）客員教授
平成13年 6月	コレージュ・ド・フランス客員教授
平成14年 10月	プリンストン大学歴史学部招聘講演
平成16年 3月	パリ第1大学客員教授

論文審査委員（海外）

平成17年 11月	パリ第4大学教授資格取得論文公開審査委員 審査論文題目 Olivier Bruand, Le pouvoir sur la terre et les hommes en Autunois VIIIe – mi XIe siècle.
-----------	--

(審査委員ピエール・トゥベール, ドミニク・バルテルミー, ステファン・レベック, フランソワ・ムナン, イヴ・サシエ, 佐藤 彰一)

受賞

平成 14 年 6 月 日本学士院賞

以上

業績 (西暦による)

単 書

- | | | | |
|----|-----------------------------|----------|--------|
| 1. | 修道院と農民—会計文書から見た中世形成期ロワール地方— | 名古屋大学出版会 | 1997 年 |
| 2. | ポスト・ローマ期フランク史の研究 | 岩波書店 | 2000 年 |
| 3. | 歴史書を読む—『歴史十書』のテキスト科学 | 山川出版社 | 2004 年 |
| 4. | 中世初期フランス地域史の研究 | 岩波書店 | 2004 年 |
| 5. | 中世世界とは何か | 岩波書店 | 2008 年 |

共 著

- | | | | |
|----|-------------------------------|------------|--------|
| 1. | 地域からの世界史 13、西ヨーロッパ 上巻 | 朝日新聞社 | 1992 年 |
| 2. | 世界歴史大系 フランス史 1 | 山川出版社 | 1995 年 |
| 3. | 世界の歴史 第 10 巻 西ヨーロッパ世界の形成 | 中央公論社 | 1997 年 |
| 4. | 各国史 フランス史 (中世フランス) | 山川出版社 | 2001 年 |
| 5. | 西洋中世学研究入門 | 東京大学出版会 | 2005 年 |
| 6. | 統合テキスト科学の地平 | 名古屋大学文学研究科 | 2007 年 |
| 7. | これからの教養教育—「カタ」の効用— 鈴木佳秀・葛西康德編 | 東信堂 | 2008 年 |

編 著

- | | | | |
|----|---|-------------|--------|
| 1. | 西洋中世史セミナー講演報告集 | 名古屋大学西洋史研究室 | 2000 年 |
| 2. | Genesis of Historical Text: Text/ Context (歴史テキストの生成) | 名古屋大学文学研究科 | 2005 年 |
| 3. | テキストの宇宙—生成・機能・布置 (SITES 講演録 2004-2005 年) | 名古屋大学文学研究科 | 2006 年 |
| 4. | Genesis of Historical Text and Map: Text / Context 2
歴史・地図テキストの生成: テキスト/コンテクスト 2 | 名古屋大学文学研究科 | 2007 年 |
| 5. | ピエール・トゥベール教授招聘事業報告書 | 名古屋大学文学研究科 | 2007 年 |

共編著

- | | | | |
|----|-------------------------|---------|--------|
| 1. | 西欧中世史 上巻 継承と創造 | ミネルヴァ書房 | 1995 年 |
| 2. | 岩波講座世界歴史 第 7 巻 ヨーロッパの誕生 | 岩波書店 | 1998 年 |

3. 西洋中世史研究入門 名古屋大学出版会 2000年
4. 角川世界史辞典 角川書店 2001年
5. 西洋中世史研究入門 (増補改訂版) 名古屋大学出版会 2005年
6. Histoire – Fiction – Représentation (歴史・フィクション・表象)
Textes réunis et présentés avec C. Carozzi, 名古屋大学文学研究科 2007年

論 文

1. ヨーロッパ諸国における中世都市史研究—フランス— (鶴川馨、小倉欣一、清水廣一郎との共同執筆) 『社会経済史学』 38-3, 1972年
2. フランク時代の vicarius と vicaria 『史観』 (早稲田大学) 96, 1977年
3. Tribunus 考 『社会科学ジャーナル』 (ICU) 15, 1977年
4. メロヴィング期聖人伝研究の動向—F. グラウス、F. プリンツの所説の紹介を中心として— 『外国語部論集』 (駒沢大学) 7, 1978年
5. 9世紀末バリの教会と土地所有— Saint-Maur-des-Fossés 修道院土地台帳の分析を中心として— 『社会科学ジャーナル』 (ICU) 16, 1978年
6. 6世紀メロヴィンガー王権の宮廷と権力構造 『法制史研究』 28, 1978年
7. 8、9世紀セプティマニア・スペイン辺境領のヒスパニア人をめぐる国制・社会状況 (一, 二完) 『法経論集・法律編』 (愛知大学) 92, 94, 1980年
8. メロヴィング期フランク王国における国王貢租
『法経論集・法律編』 (愛知大学) 99, 1982年
9. 5・6世紀ガリアにおける王権と軍隊 『法経論集・法律編』 (愛知大学) 101, 1983年
10. 後期古代社会における聖人・司教・民衆 『西洋史論叢』 (早稲田大学) 5, 1983年
11. Être affranchi au Haut Moyen Age. Une catégorie juridique dans les mutations politique et sociale du royaume franque (VIe – début du IXe siècles).
『法経論集・法律編』 (愛知大学) 104, 1984年
12. 教会登録貧民考—中世初期の教会と社会— 『社会史研究』 5, 1984年
13. 1960年以降フランス学界における中世初期都市・農村関係に関する研究
『法経論集・法律編』 (愛知大学) 109, 1985年
14. 七世紀後半ルーアン司教区における修道院建設・定住・流通—聖人伝を主たる素材として—
森本芳樹編『西欧中世における都市＝農村関係の研究』九大出版会、1988年
15. ル・マン司教ベルトラムヌスの遺言状 (616年)—ある聖界貴族を通して見たフランク社会 (1)
『名古屋大学文学部研究論集C I』 史学 34, 1988年
16. メロヴィング期ペリイ地方の空間組織—古代的都市・農村関係の存続と展開—
『名古屋大学文学部研究論集CIII』 史学 36, 1990年
17. Chrodebert conceda-t-il le premier privilège épiscopal pour Saint- Martin de Tours ?
Une problématique méconnue, in *Haut Moyen-Age. Culture, éducation et société. Études offertes à Pierre Riché*, éd. M.Sot, Nanterre/ Paris, 1990.
18. Les implantations monastiques dans la Gaule du Nord: Un facteur de la croissance agricole au VIIe siècle ? Quelques éléments d'hypothèse concernant les régions de Rouen et de Beauvais, in *Flaran 10, La croissance agricole du Haut Moyen Age*.

- Chronologie, modalités, géographie.* Auch, 1990.
19. 隷属からもう一つの従属へ—フランク王国における奴隷解放と解放自由人(6-8世紀)
長谷川博隆編『権力・知・日常』名大出版会、1991年
 20. 7世紀後半のトゥール司教座とサン＝マルタン修道院—司教クロドバルトゥスをめぐって—
『名古屋大学文学部研究論集 CIV』史学 37, 1991年
 21. 中世初期のトゥールとロワール交易—ひとつの素描—
比較都市史研究会編『都市と共同体』上巻、名著出版、1991年
 22. 7世紀後半トゥールの「会計文書」—パリ国立図書館新収ラテン写本 2654 番について—
『名古屋大学文学部研究論集 CXIII』史学 38, 1992年
 23. 聖人とキリスト教的心性の誕生『西欧中世史 上巻 継承と創造』
ミネルヴァ書房 1995年
 24. 識字文化・言語・コミュニケーション
『西欧中世史 上巻 継承と創造』ミネルヴァ書房 1995年
 25. ユーグ・ル・グランの937年—証書の中の政治史—
『名古屋大学文学部研究論集 CXXXIII』史学 44, 1998年
 26. 古代から中世へ 『岩波講座世界歴史 第7巻 ヨーロッパの誕生』岩波書店 1998年
 27. L'agrarium: la charge paysanne avant le régime domanial, VIe-VIIIe siècles.
Journal of Medieval History, Vol.24, no.2, 1998, June
 28. マンフェルム文書と修道院—10世紀トゥール地方の世襲借地制をめぐるノート—
『西洋史研究』新編第27号 1998年
 29. 9世紀トゥール地方の所領構造と領民の存在形態についての覚え書
『名古屋大学文学部研究論集 CXXXIV』史学 45, 1999年
 30. カロリング初期ラングドック地方における伯職領の創出について—782年ナルボンヌ司教管区に関する裁判文書をめぐって—
『法制と文化・見城幸雄教授頌壽記念』愛知大学文学会 1999年
 31. メロヴィング朝期ル・マン地方の土地変動と司教管区—司教バルトラムヌスの遺言状(616年)を中心に—
田北廣道編著『中・近世西欧における社会統合の諸相』九州大学出版会 2000年
 32. The Merovingian Accounting Documents of Tours: Form and Function
Early Medieval Europe, Vol.9-2, 2000,
 33. 戦う王、裁く王—西ヨーロッパ初期王権論—
岩波講座『天皇と王権を考える』, 第2巻「統治と権力」所収 岩波書店 2002年
 34. À propos du plaid judiciaire pour la restitution de la patrimoine ecclésiastique de Narbonne en 782,
Mélanges offerts pour Prof. Shin-ichi Ichikawa, 2003, Tokyo
 35. Texte de silence ou silence du texte: essai de déconstruction des Historiarum Libri Decem de Grégoire de Tours.
SITES. Journal of Studies for the Integrated Text Science, Vol.1, No.1, (2003)
 36. À propos de la fiscalité et de l'État mérovingien aux VI^e et VII^e siècles.
C. Carozzi et H. Taviani-Carozzi (éd), *Le Médiéviste devant ses sources:*

- questions et méthodes*, Aix-en-Provence, 2004,
37. 司教グレゴリウスの沈黙—歴史叙述とその作者—
田北廣道・藤井美男編『ヨーロッパ中世世界の動態像—史料と理論の対話—
森本芳樹先生古希記念論集』九州大学出版会, 2004年
 38. La cour royale au premiers temps mérovingiens d'après les sources narratives: plus particulièrement *Historiarum libri decem* de Grégoire de Tous,
SITES : Journal of Studies for the Integrated Text Science, Vol., 2, No.1, 2004
 39. Remarques sur les exploitations rurales en Touraine au haut Moyen- Âge,
Annales de Bretagne et des pays de l'Ouest, no. special "Alcuin de York à Tours.
Écriture, pouvoir et réseaux dans l'Europe du haut Moyen-Âge, t. 111, 2004, no.3
 40. Le système de divisions du texte et sa contextualité dans les *Historiarum libri decem*,
S. Sato, éd., *Genesis of Historical Text: Text / Context, Proceedings of the Fourth
International Conference, Studies for the Integrated Text Science*, Nagoya, 2005
 41. Recherches sur le diocèse du Mans au début du VIIe siècle: circonscription épiscopale et mutation foncière. Essai de lecture symptomatique du textehistorique,
SITES : Journal of Studies for the Integrated Text Science, Vol., 3, No.1, 2005
 42. Le passé et le présent dans le mariage des Mérovingiens selon Grégoire de Tours: l'énoncé et la construction narrative, C. Carozzi et S. Sato, éd. *Histoire – Fiction – Représentation*.
Proceedings of the Eighth *International Conference, Studies for the Integrated Text Science*, 2007
 43. Remarques sur les notices topographiques dans l'hagiographie mérovingienne: Le cas du diocèse de Rouen,
S. Sato éd. *Genesis of Historical Text and Map, Proceedings of the
Tenth International Conference, Studies for the Integrated Text Science*, 2007
 44. 歴史テキスト生成の論理 統合テキスト科学の地平 名古屋大学文学研究科 2007年
 45. 文字記録と支配—ポスト・ローマ期イタリアの構造—
田口正樹篇「西洋と日本における法の「かたち」と統合作用—史料論的・文化史的比較研究」 (平成 16-18 年度科学研究費補助金基盤研究 (B) 研究成果報告書 2007年)
 46. Développement de l'étude de l'histoire médiévale européenne au Japon. Une esquisse historiographique et interpretative,
Hersetec. Journal of Hermeneutic Study and Education of Textual Configuration, Vol.1, No. 1. 2008 (2007)

書 評

1. 森本芳樹著『西欧中世経済形成過程の諸問題』木鐸社 1978年
『比較都市史研究会会報』4-8, 1978年
2. 石川操「西洋初期中世の貴族支配」『法制史研究』30, 1980年
3. 石川操「Irmina von Oeren について—フランク貴族に関する一考察—」
『法制史研究』33, 1983年
4. 石川武著『序説中世初期の自由と国家—国王自由人学説とその問題点—』創文社, 1983年

- 『法制史研究』34, 1984年
5. 佐藤伊久男、松本宣郎編『歴史における宗教と国家』南窓社、1990年
(毛利晶との共同執筆)『史学雑誌』1991年
 6. 渡辺節夫著『フランス中世政治権力構造の研究』東大出版会、1992年
『法制史研究』42, 1992年
 7. ヨーロッパ初期国家の教会性と世俗性 山田欣吾『教会から国家へ』を読んで
『創文』no.345, 1993年7月号
 8. 橋本龍幸著『中世成立期の地中海世界—メロヴィング時代のフランクとビザンツ—』南窓社、1997年『史学雑誌』107-1, 1998年
 9. 玉置さよ子著『西ゴート王国の君主と法』創研出版、1996年 『史林』81-1, 1998年
 10. アルフレッド・W・クロスビー『ヨーロッパ帝国主義の謎—エコロジーから見た10-20世紀—』岩波書店、1998年、『思想』1999年5月
 11. 石川操『西洋初期中世貴族の社会経済的基礎』勁草書房、1998年
『社会経済史学』65-1, 1999年
 12. 「ツンフト像の革新—佐久間弘展『ドイツ手工業・同職組合の研究』を読んで—」
『創文』no.413, 1999年9月号
 13. 「池上俊一著『ロマネスク世界論』」
『学鏡』97-2, 2000年2月号
 14. Paul Fouracre, The Age of Charles Martel 『西洋史学』200号、2001年3月
 15. 森本芳樹『中世農民の世界。甦るプリュム修道院所領明細帳』
『西洋史学論集(九州西洋史学会)』第41号 2003年12月
 16. 森 洋訳編『サン・ドニ修道院長シュジェールルイ六世伝、七世伝、定め書、献堂記、統治記—』
『史学雑誌』第112編第12号(2003年)
 17. 比較史の現在 森本芳樹著『比較史の道』を読んで 『創文』no.466, 2004年7月号
 18. 丹下榮著『中世初期の所領経済と市場』 『社会経済史学』70-1, 2004年
 19. 二宮宏之『マルク・ブロックを読む』 『史学雑誌』115編第6号(2006年)

学界展望

1. 1987年の歴史学界 回顧と展望—中世西欧— 『史学雑誌』97-5, 1988年
2. 第10回フララン国際研究集会に出席して 『史学雑誌』98-7, 1989年
3. 1990年の歴史学界 回顧と展望—西欧中世— 『史学雑誌』100-5, 1991年

文献紹介

1. ヨーロッパの諸都市『国際都市史研究手引』から(2)—ハンガリー、ユーゴスラヴィア—
『比較都市史研究会会報』3-9, 1977年
2. ヨーロッパの諸都市『国際都市史研究手引』から(3)—アルバニア、ブルガリア、ルーマニア—
『比較都市史研究会会報』4-3, 1978年
3. ヨーロッパの諸都市『国際都市史研究手引』から(8)—スペイン、ポルトガル—
『比較都市史研究会会報』4-10, 1978年
4. ヨーロッパの諸都市『国際都市史研究手引』から(9)—ギリシア、ヨーロッパ・トルコ—
『比較都市史研究会会報』5-1, 1979年

5. Topographie chrétienne des cités de la Gaule des origines au milieu du VIIIe siècle, éd. par N.Gauthier et J.Ch. Picard, 7 vols. Paris, 1986-89. 『西洋史学』 CLX, 1990 年
6. Jean Durliat, Les finances publiques de Dioclétien aux Carolingiens (284-889), Sigmaringen, 1990. 『国家学会雑誌』 105 卷 9-10 号, 1992 年

翻 訳

1. L. ジェニコ著「中世史学とコンピューター」
森本芳樹監修『歴史学の伝統と革新』九大出版会、1984 年
2. Ph. ウォルフ「南フランスにおける都市の中世史—ローマ時代から最盛期（13 世紀）まで—」
『比較都市史研究』 1-2, 1982 年
3. P. トゥベール「中世地中海世界の人間と自然環境」
『思想』 no.892, 1998 年
4. J.-Cl. シュミット「歴史家と図像」
『思想』 no.897, 1999 年
5. M. プーラン「中世南フランス史における村落共同体の基本性格」
『名大西洋中世史セミナー講演報告集』 2000 年
6. P. リシェ「サン・ベルナルはいかに同時代のキリスト教世界を認識したか」
『名大西洋中世史セミナー講演報告集』 2000 年
7. P. リシェ「中世の子供再発見」
『名大西洋中世史セミナー講演報告集』 2000 年
8. M. ビュール「祖先の記憶と批判的系譜研究」
『名大西洋中世史セミナー講演報告集』 2000 年
9. M. ビュール「土壘城塞の形態論と類型論（10-12 世紀）」
『名大西洋中世史セミナー講演報告集』 2000 年
10. S. レノルズ「『知行と封臣』以後」
『名大西洋中世史セミナー講演報告集』 2000 年
11. P. トゥベール「中世史家と史料問題」
『名大西洋中世史セミナー講演報告集』 2000 年
12. P. ブラウン「栄光につつまれた死—死と死後の世界、400-700 年」
『名大西洋中世史セミナー講演報告集』 2000 年
13. H. アツマ「メロヴィング社会の文書と権力」
『名大西洋中世史セミナー講演報告集』 2000 年
14. H. アツマ「フランク王国の宝物庫・遺言状・資財帳—オーセールの場合—」
『名大西洋中世史セミナー講演報告集』 2000 年
15. J. ヴザン（瀬戸直彦との共訳）「古書体学と歴史学—シナイ半島のラテン語写本—」
『名大西洋中世史セミナー講演報告集』 2000 年
16. P. トゥベール「事件と構造：歴史方法論の一問題—1212 年「子供十字軍」に寄せて—」
『ピエール・トゥベール教授招聘事業報告』 2007 年

学会報告

1. Gregorii Turonensis 『Libri Historiarum X』, lib.VII, C.23 および lib.X, C.7 の解釈によせて
京都大学西洋史読書会、1977 年 11 月 6 日
2. 初期メロヴィンガー王権の権力構造—宮廷を中心として—
法制史学会第 30 回総会、1978 年 4 月 7 日 一橋大学
3. 初期メロヴィンガー王権下における軍隊の基本性格

- 法制史学会第 30 回研究大会、シンポジウム「中世の法と国制をめぐって」
1982 年 10 月 9 日 関西大学
4. 中世初期フランス中部の都市と農村領域— *civitas, villa, vicus, colonica* —
日本西洋史学会第 37 回大会、小シンポジウム「西欧中世における都市と農村：再論」
1987 年 5 月 17 日 熊本大学
 5. *Implantations monastiques dans la Gaule du Nord. Un facteur de la croissance agricole au VIIe siècle ?*: Quelques éléments de l'hypothèse concernant les régions de Rouen et de Beauvais.
第 10 回フララン国際研究集会、共通論題「中世初期の農業成長」、
1988 年 9 月 10 日、フララン修道院 (アルマニャック、フランス)
 6. *The Merovingian system of court and power struggles in Sixth Century Gaul.*
The 28th Annual Meeting of the Medieval Association of the Pacific, March 1994,
University of Washington, Seattle, USA.
 7. *The Three-Fields System in the Late Merovingian Accounting Documents from the Abbey of Saint-Martin at Tours.*
The 31th Annual Meeting of the Medieval Association of the Pacific, March 1997,
University of Hawaii at Manoa, USA.
 8. メロヴィング王朝の婚姻戦略—ポスト・ローマ国家の自己維持機制—
第 53 回日本西洋史学会大会 2003 年 5 月 11 日 愛知県立大学
 9. *Le régime agraire et les exploitation rurales en Touraine au haut Moyen Age*
Colloque international "Alcuin à Tours" Université de Tours, 4-6, mars 2004, Tours.
 10. *Le système de divisions du texte et sa contextualité dans les Historiarum libri decem.*
21st Century COE Program, International Conference, "Genesis of Historical Text:
Text / Context" 2004 年 9 月 16 日, 名古屋大学
 11. 日本におけるヨーロッパ中世史研究の展開 —一つの史学史的素描—
“教養教育の再構築プロジェクト” 2005 年 2 月 21 日 放送大学 (幕張)
 12. *Le passé et le present dans le mariage des Mérovingiens selon Grégoire de Tours: l'énoncé et la construction narrative.*
21st Century COE Program, International Conference, "Histoire, Fiction,
Représentation", 2006 年 10 月 23 日 エクサン・プロヴァンス大学 (フランス)
 13. *Remarques sur les notices topographiques dans l'hagiographie mérovingienne: le cas du diocèse de Rouen.*
21st Century COE Program, International Conference, "Genesis of Historical Text and
Map: Text / Context 2", 2006 年 11 月 17 日 名古屋大学
 14. ポスト・ローマ期における *fiscus* とその変遷—西欧中世国家論に寄せて—
史学会 104 大会 東京大学 2006 年 11 月 19 日
 15. ヨーロッパ中世の封建制と国家研究の現在
第 60 回法制史学会大会 名古屋大学 2008 年 4 月 20 日

講 演

1. *Une abbaye et ses paysans en Touraine mérovingienne: étude des documents com-*

- ptables de Saint-Martin de Tours.
 パリ第 10 大学「後期古代・初期中世研究センター」 1995 年 5 月 9 日
2. Les documents comptables de l'Abbaye Saint-Martin de Tours. Problèmes d'interprétation. ナンシー第 2 大学「中世史料編纂センター (GESMA)」1995 年 5 月 18 日
 3. La cour et l'entourage royaux dans l'état franc d'après Grégoire de Tours.
 エクサン・プロヴァンス大学「中世史セミナー」1995 年 5 月 22 日
 4. La Touraine mérovingienne à partir des documents comptables de Saint-Martin de Tours フランソワ・ラブレー (トゥール) 大学「考古学研究センター」1995 年 10 月 2 日
 5. ヨーロッパとは何か
 中央公論社『世界の歴史』刊行記念講演会 松坂屋ホール、1996 年 10 月 21 日
 6. 西欧中世初期・盛期社会の構造的把握をめぐる最近の研究動向
 重点化研究による招待講演 東北大学文学部 1997 年 11 月 28 日
 7. 意図を秘めた文書集成としての「カルテュレル」
 名古屋大学文学部創設 50 周年記念公開シンポジウム「いま、歴史史料を考える」
 1998 年 9 月 28 日
 8. La recherche de l'histoire de l'Europe médiévale au Japon aujourd'hui. Structure et état actuel
 パリ、ドイツ歴史研究所 2001 年 6 月 26 日
 9. メロヴィング国家論の可能性
 久留米大学連続講演会 福岡サテライト・アクロス 2002 年 3 月 23 日
 10. The fate of the system of public taxation in the Merovingian period : a problem revisited.
 アメリカ合衆国 プリンストン大学歴史学部 (ニュー・ジャージー) 2002 年 10 月 10 日
 11. トゥール司教グレゴリウス『歴史十書』のテキスト世界
 第 3 回 COE オープン・レクチャー国際センタービル (名古屋) COE オフィス,
 2003 年 5 月 21 日
 12. ポスト・ローマ期フランク国家の自己維持機制
 第 1 回名古屋大学高等研究院交流セミナー 文系総合棟カンファレンスルーム,
 2003 年 7 月 25 日
 13. テキスト研究の新たな地平— 21 世紀 COE プログラム「統合テキスト科学の構築」について—
 日本フランス語フランス文学会中部支部秋季大会, 愛知大学, 2003 年 10 月 11 日
 14. La société rurale dans la région de Tours à la fin du VIIe siècle, à travers les documents comptables de St. Martin de Tours.
 Séminaire tenu par Régine le Jan et François Menant, École normale supérieure,
 Paris, rue d'Ulm, 2004 年 3 月 24 日
 15. ことば・テキスト・歴史
 中部技術士会平成 16 年度夏期例会招待講演, 名古屋都市センター, 2004 年 7 月 24 日
 16. テキストとしての儀礼—西洋中世儀礼研究の新動向—
 第 18 回 COE オープン・レクチャー, 国際センタービル (名古屋) COE オフィス,
 2004 年 11 月 24 日
 17. ポスト・ローマ期フランスの社会構造をめぐる研究の現段階

日仏歴史学会講演, 東京日仏会館 2005年3月31日

18. Observations on the marriage politics of the Merovingian Dynasty
University of London, Institute of Historical Research, London, 2005年11月30日
19. ポスト・ローマ期ヨーロッパのコミュニケーション問題 —ラテン語はいつから話されなくなったか— 第31回 COE オープン・レクチャー国際センタービル, (名古屋)
COE オフィス, 2006年4月19日
20. Propagation of the notion of Feudalism: A success story and what it concealed,
Fondation Hardt, Genève, Switzerland, 2007年8月28日
21. 封建制概念のテキスト論的脱構築のために
第1回 G-COE オープンレクチャー 国際センタービル (名古屋) COE オフィス,
2007年10月17日
22. メロヴィング国家論の試み
第58回日本西洋史学会大会 (島根大学) 島根県民会館 (松江), 2008年5月10日
23. 19世紀フランスの歴史学と歴史教育
新潟大学 19世紀学研究所シンポジウム「学問・教養・19世紀」, 2009年1月12日

その他

1. 初期カロリング権力のセプティマニア支配について (778-817)
『早稲田大学史学会西洋史部会報告』1, 1972年
2. 都市における教会と下層民—中世初期ガリアを中心として—
『比較都市史研究会会報』2-3, 1976年
3. 「魚住昌良「中世都市とその担い手」をめぐって. 合同シンポジウム「日本の都市とヨーロッパの都市: 報告と討論」
『比較都市史研究会会報』2-10, 1976年
4. 項目執筆 「西ゴート王国」、「東ゴート王国」 『大百科事典』平凡社, 1983年
5. Recherches sur les Documents Comptables de Saint-Martin de Tours a la fin de l'époque mérovingienne,
Mémoire de DEA, Université de Paris -X, Nanterre, octobre 1985.
6. 「全方向に開かれた土地」 週刊朝日『世界の歴史』1 所収, 1989年
7. 「ハルシュタットの鉄器文化」 同上 6 所収, 1989年
8. 「ケルト人のラテーヌ文化」 同上 11 所収, 1989年
9. 「ローマ化で栄えるガリア」 同上 16 所収, 1989年
10. 「激化する反ローマ活動」 同上 21 所収, 1989年
11. 「ゲルマン民族とフランク」 同上 26 所収, 1989年
12. 「イングランドとフランク王国の発展」 同上 31 所収, 1989年
13. 「フランクの分裂とヴァイキング」 同上 36 所収, 1989年
14. 「封建制の成立と叙任権闘争」 同上 41 所収, 1989年
15. 「十字軍運動の熱狂」 同上 46 所収, 1989年
16. 「封建社会の変質」 同上 51 所収, 1989年
17. 「ペストの脅威と百年戦争」 同上 56 所収, 1989年
18. 「中世の終焉」 同上 61 所収, 1990年
19. 「歴史から」 名古屋大学放送公開講座『異文化理解 内と外』所収, 1990年

20. A. ティエリ、小島輝正訳『メロヴィング朝史話』岩波文庫、監修と解説 1992年
21. ポスト・モダン時代の卒業生諸君に 『名古屋大学新聞』1992年3月25日
22. フォーラム 『比較都市史研究』第12巻1号 1993年6月
23. ヨーロッパ初期国家の教会性と世俗性 『創文』345号、1993年7月
24. ケルト世界 『クロニクル世界全史』講談社 1994年
25. 項目執筆 「城」、「宮廷、宮殿」、「剣」、「シャルルマーニュ」
『歴史学事典』弘文堂、1994年
26. The merovingian system of court and power struggles in 6th century Gaul,
Chronica. The Journal of the medieval Association of the Pacific, no.49, 1994
27. 〈Studia generalia〉 Report on the activities of European Medieval History Seminar at
Nagoya University, 1994-1995, *Chronica. The Journal of the medieval
Association of the Pacific*, no.50, 1994,
28. Report on the activities of European Medieval History Seminar at Nagoya University,
1997-1998, *Chronica.
The Journal of the medieval Association of the Pacific*, no. 54-55, 1996-1997
29. 西欧中世初期の世界 辻佐保子編『世界美術大全集7・西欧初中世の美術』
小学館、1997年
30. 著書『修道院と農民』に寄せて 『朝日新聞』中部版夕刊1997年4月26日
31. 本が私をつかまえる 『名古屋大学・学生相談室報』第34号、1997年
32. 中世初期西欧における世帯と定住空間—七世紀末トゥール地方南部の極小空間トジニイを
例として— 科研費成果報告書『西洋における家族・定住・空間組織の史的研究』
(代表者佐藤彰一) 1998年
33. 意図を秘めた文書集成としての「カルテュレール」
名古屋大学文学部創設50周年記念公開シンポジウム・1998
『いま、歴史資料を考える』名古屋大学史学科、1999年
34. 〈Studia generalia〉 Report on the activities of European Medieval History Seminar at
Nagoya University, 1999,
Chronica. The Journal of the medieval Association of the Pacific, no.59, 2000
35. Docet omnia 『日仏歴史学会会報』第17号、2002年
36. ある総合の企て 『名大トピックス』No.108 平成14年5月31日
37. 西洋史学と研究教育ストラテジー 『創文』no.445, 2002年8月
38. Pour une valeur universelle : cas de l'historien médiéviste occidentaliste au Japon,
『La Lettre du Collège de France』, no.6, Octobre 2002
39. エールディーツイオー賛
『歴史学の最前線』史学会100回大会記念シンポジウム冊子 2002年11月
40. 21世紀COE統合テキスト科学の構築 『名大トピックス』特別号 平成14年11月28日
41. 「コラム歴史の風」ヨーロッパに国立歴史研究所を
『史学雑誌』第112編第1号(2002年)
42. 統治と文字記録 『統合テキスト科学の構築』COE討議資料NO.1, 2003
43. 西ゴート期スレート文書の歴史的コンテキスト

- 『統合テキスト科学の構築』COE 討議資料 NO.3, 2003
44. フランスとの 35 年 『朔風』(酒田東高校 PTA だより) 第 96 号 (2004)
45. 魔法の場所 『亀城同窓会会報』第 9 号 (2004 年)
46. テキスト科学・史科学・マイクロヒストリー —ポスト・ローマ期国家構造研究の新地平—
『高等研究院年次報告 2005』名古屋大学高等研究院, 2006 年
47. ポスト・ローマ期における fiscus とその変遷—西欧中世国家論に寄せて—
『史学雑誌』第 116 編第 1 号 (2007)
48. インタビュー「佐藤彰一教授に聞く」 『クリオ』, May 2007, vol.21.

以上